

ルース台風 災害特集号

手を取りあつて復旧え

鹿兒島市長 勝目 清

市民の皆さま!!
十月十四日、本市を襲いましたルース台風は折柄の高汐を伴つて、未曾有の災害を残して去りました。
くらやみの中に恐怖の一夜をまんじりもせず明かされた皆さんが眩しい朝の日光に照らされたわが家、わが町の昨日に姿を無惨な姿を見渡されたさきの悲しみを思い返してみます。私は今日でも胸を締めつけられるような気がいたしてなりません。

私共の鹿兒島市は六年前の六月十七日其他の爆撃によつて一望の焼野ヶ原になりました。それから六年、廃墟の中に立ちあがつて敗戦に伴うあらゆる悪条件を闘いながら困難な復興をなしきつてまいりました。今日、再び此度の台風によりまして過去の戦災にも比すべき大きな打撃を蒙りました。

昔から「天災は忘れた頃にやつて来る」と申しますが今更ながら鹿兒島市民に与えられた宿命の惨ましさに悲痛な気持ちさえ致します。台風による損害は現在までに判明しており、す分でも七〇億円を超えており、道路・港湾・学校などの公共施設の損害も亦甚大であります。

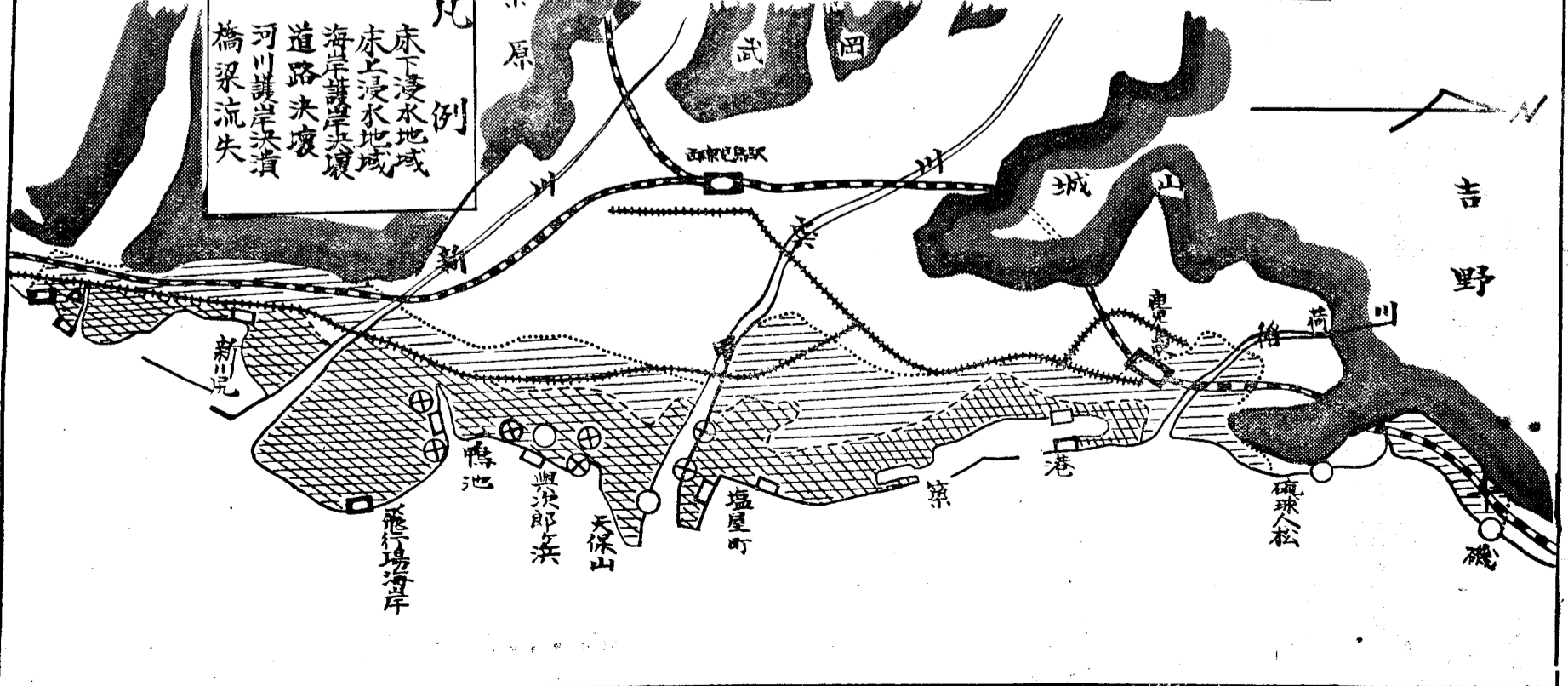
亦市民の皆様にも住家・家財・商品・農作物など全市大小に拘らず被害を受けたい人はない程で、日々の生活に或は復旧修理に難渋されていること存じます。

市役所いたしましても災害対策本部を設置して、政府・縣当局にも強力に働きかけて鹿兒島市の災害復旧にあらゆる努力を払つておられますので、市民の皆様におかれても天災に挫けることなく、このような逆境に処してこそ温かい隣人愛を発揮して冷静に勇気を奮い起こして復旧に努力されるようお願い致します。さりとて、御見舞う々々市民の皆さまの御協力をお願い致します。



写真特集
 上右 鉄路も電柱も(磯公園前)
 上左 硫球人松附近
 中 鹿兒島港荷揚場
 下右 郡元市管住宅の惨状
 下左 与次郎ヶ浜の惨状

ルース台風被害状況図



損害七〇億円を突破

再建に立ちあがった市民

1、まえがき

二百十日の厄日も無事に過ぎ、思うに鹿児島は、日本の最南端今年こそは豊作の秋を待つに、あつて、何れの方に向う風もはかりなつて来た先、十月十日に鹿児島市を襲つた台風は、四時午後六時、突如季節外れに鹿児島市を襲つた。この被害額は、七〇億円を突破し、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

二百十日の厄日も無事に過ぎ、思うに鹿児島は、日本の最南端今年こそは豊作の秋を待つに、あつて、何れの方に向う風もはかりなつて来た先、十月十日に鹿児島市を襲つた台風は、四時午後六時、突如季節外れに鹿児島市を襲つた。この被害額は、七〇億円を突破し、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

2、家屋被害三万戸

今更な台風による鹿児島市の被害額は、七〇億円を突破し、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

3、わが子の学び舎

今更な台風による鹿児島市の被害額は、七〇億円を突破し、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

区	分	数	量
人	死	13名	
	重傷	5名	
建	全半小床	1,958戸	
	全半小床	2,447戸	
物	全半小	9,394	
	全半小	11,070	
船	沈没	15隻	
	沈没	51隻	
耕地	田畑	1,026町	
	田畑	2,446町	
山林	山林	100町	
	山林	100町	

関係	被害額
土	260,320千円
木	312,000
耕地農作物	3,000
山林産物	161,040
水交	81,728
学	64,374
市有	157,266
市一般	5,309,354
商	686,050
計	7,035,132

種別	金額	備考
一、仮設住宅設置費	七、五〇〇	一五〇戸、戸当六千、五万円
二、炊出費	一、八七六	一五、〇〇〇人、十分
三、台所用品費	二、四四〇	三、八四〇人、二、〇〇〇円
四、学用品費	八四五	三、〇〇〇人、二、〇〇〇円
五、祭費	八四	二八一人、二、〇〇〇円
六、運搬費	一四	二八一人、二、〇〇〇円
七、運搬費	四八	一四四、〇〇〇円、二、〇〇〇円
八、收容施設費	三〇	一、〇〇〇人、二、〇〇〇円
計	二、二八七	

4、災害救助に 千二百万円を緊急支出

市では今次災害に対処するため、出、毛布、衣類の貸與、台所用品、多給を急ぎ、被災者の生活に支障をきたさないよう、千二百万円を緊急支出する。被災者の生活に支障をきたさないよう、千二百万円を緊急支出する。

被災者の生活に支障をきたさないよう、千二百万円を緊急支出する。被災者の生活に支障をきたさないよう、千二百万円を緊急支出する。

種別	金額	備考
一、仮設住宅設置費	七、五〇〇	一五〇戸、戸当六千、五万円
二、炊出費	一、八七六	一五、〇〇〇人、十分
三、台所用品費	二、四四〇	三、八四〇人、二、〇〇〇円
四、学用品費	八四五	三、〇〇〇人、二、〇〇〇円
五、祭費	八四	二八一人、二、〇〇〇円
六、運搬費	一四	二八一人、二、〇〇〇円
七、運搬費	四八	一四四、〇〇〇円、二、〇〇〇円
八、收容施設費	三〇	一、〇〇〇人、二、〇〇〇円
計	二、二八七	

五、むすび

以上今更な台風による鹿児島市の被害額は、七〇億円を突破し、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

社会 仮住宅の増設急ぐ

市では今次災害に対処するため、出、毛布、衣類の貸與、台所用品、多給を急ぎ、被災者の生活に支障をきたさないよう、千二百万円を緊急支出する。

被災者の生活に支障をきたさないよう、千二百万円を緊急支出する。被災者の生活に支障をきたさないよう、千二百万円を緊急支出する。

災害対策のあれこれ

林 稲刈りと

農 麦作の準備を急ぎましょう

鹿児島市では、今次災害による被害額は、七〇億円を突破し、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

務 予想外の惨状に同情

野田建設相ら来鹿視察

野田建設相ら来鹿視察。野田建設相ら来鹿視察。野田建設相ら来鹿視察。野田建設相ら来鹿視察。

野田建設相ら来鹿視察。野田建設相ら来鹿視察。野田建設相ら来鹿視察。野田建設相ら来鹿視察。

務 市税を減免

被災者に特別措置

鹿児島市では、今次災害による被害額は、七〇億円を突破し、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

建築 平木を市で直賣

鹿児島市では、今次災害による被害額は、七〇億円を突破し、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。この被害額は、鹿児島市の歴史に、いまだに鮮烈な痕跡を残して居る。

固定資産の縦覧 課税台帳

課税台帳

告示第六一〇号

地方税法第四百十五条の規定により固定資産課税台帳を左記により縦覧に供する。

地方税法第四百十五条の規定により固定資産課税台帳を左記により縦覧に供する。

- 昭和三十六年度、土地・家屋に対する固定資産税の課税標準となる評価額。
- 昭和三十五年及び昭和三十六年度償却資産に対する固定資産税の課税標準となる評価額。
- 縦覧の場所
- 鹿児島市役所内（伊敷地区及び東桜島地区を除く。）
- 鹿児島市役所伊敷支所（旧伊敷村地区の分。）
- 鹿児島市役所東桜島支所（旧東桜島村地区の分。）
- 縦覧の期間
- 昭和三十六年十一月一日から昭和三十六年十一月十日まで十日間（但し執務時間中）の通り公示する。
- 昭和三十六年十月二十五日
- 鹿児島市長 勝目 清

選挙人の縦覧

告示第一〇〇号

昭和三十六年九月十五日現在で調製した基本選挙人名簿を次の通り縦覧に供する。

昭和三十六年九月十五日現在で調製した基本選挙人名簿を次の通り縦覧に供する。

- 縦覧期間 自昭和三十六年十一月五日 至昭和三十六年十一月十九日
 - 縦覧場所 鹿児島市選挙管理委員会事務局及び各町関係の漁業協同組合事務所
 - 異議の申立期間 縦覧期間中
 - 異議申立の場所 鹿児島市選挙管理委員会
- 昭和三十六年十月二十九日 鹿児島市選挙管理委員会 河川 清吉